

第2学年 国語 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現力	知識・技能
配分				
具体的評価資料		授業態度・提出物・発言・ワークシート・ノート 振り返りの記述	スピーチ・学習活動における話し合いの様子 ワークシート・作文・鑑賞文・意見文・聞き取りテスト 定期考査	小テスト・定期考査・書写 書き初め・ワークシート・漢字小テスト・漢字ドリル
領域	単元			
	広がる学びへ	- 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 - 進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。 - 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。 - 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもってガイドを作ろうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	「読むこと」→「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 「話すこと・聞くこと」→提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。 「読むこと」→作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 「書くこと」→生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。 「書くこと」→調べてみたいことを決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。	- 語感を磨き語彙を豊かにしている。登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 - 提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。 - 現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。 - 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。集めた情報を表や図にまとめ、整理している。 - 熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。
	多様な視点から	- 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 - 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	「読むこと」→筆者の主張を捉え、それと仮説との関係を理解している。文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 「話すこと・聞くこと」→アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。	- 文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 - 問題に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。 - 相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。 - 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。
	を情報社会	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	「読むこと」→適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 「書くこと」→目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。	情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。
	言葉と向き合う	- 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 - 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。	「読むこと」→複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 「書くこと」→自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 「読むこと」→言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。	- 情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。 - 言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。 - 類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。
	を読書生活	- 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。 - 進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	「読むこと」→二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。	活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んていきたいかを考えている。翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。

	人間のきずな	・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 ・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。 ・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 ・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	・「読むこと」→登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」→話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。 ・「書くこと」→自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。 ・「書くこと」→読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。 ・どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。 ・何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。 ・紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。 ・敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。 ・文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。
	論理を捉えて	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。	・「読むこと」→文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。 ・「書くこと」→根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。 ・「話すこと・聞くこと」→地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。 ・「読むこと」→詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。	・筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について、問題に取り組み、根拠を吟味している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 ・情報との関係、説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。 ・語感を磨き語彙を豊かにし、詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。
	心いをに訪しねえるの	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。 ・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。 ・進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。	・「読むこと」→「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。 ・「読むこと」→法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 ・「書くこと」→文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 ・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。	・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。 ・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 ・漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。
	価値を語る	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。 ・進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。	・「読むこと」→二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。 ・「書くこと」→作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。	・筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かつこいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 ・作品の魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 ・用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。
	親読し書むに	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	・「読むこと」→教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。	・教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。
	表現を見つめる	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。	・「読むこと」→「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 ・「書くこと」→登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力や文章にまとめている。 ・「書くこと」→起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。 ・これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。 ・話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。 ・送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。

令和7年度		台東区立浅草中学校		
第2学年 社会科		観点別学習状況の評価規準		
評価の観点 配分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
具体的評価資料		ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト、授業参加
領域	単元			
地理	世界と比べた日本の地域的特色	○世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。 ○日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	○世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。 ○日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	○世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。 ○自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。
	日本の諸地域	○日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	○日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	○自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。
	身近な地域の調査	○地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	○対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。	○対象地域の特色や課題を主体的に追究している。
評価の観点 配分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史	近世の日本	○田―ロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ○飢饉の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	○貿易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	開国と近代日本の歩み	○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	二度の世界大戦と日本	○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1 章 文字式を使って説明しよう [式の計算] (15 時間)

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読みとったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 式の計算	マジックシートのしくみは？（教科書 p. 11～13）	1	マジックシートの仕組みを見いだし、その仕組みの説明に文字を使う必要があることを理解する。	・マジックシートをいろいろな数で計算し、その仕組みを見いだす。 ・文字を使ってマジックシートの仕組みを説明する。	○文字を使うと、数量を一般的に表すことができることを理解している。	○マジックシートの仕組みが成り立つことを、具体的な数や文字を使って説明することができる。	○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。
	1 多項式の計算 (教科書 p. 14～18)	2	単項式と多項式、次数の意味を理解する。	・文字式を項の数やかけられている文字の個数で分類する。 ・単項式と多項式、次数の意味を知る。 [用語・記号] 単項式、多項式、項、(単項式の) 次数、(多項式の) 次数、1 次式	○単項式と多項式、次数の意味を理解している。		○既習の計算方法と関連づけて、多項式の計算方法を考えようとしている。
		3	同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算ができる。	・1 年で学習した同類項をまとめる計算を振り返って、2 つの文字をふくむ計算について考える。 ・同類項の意味を知る。 ・同類項をまとめる計算や多項式の加法や減法の計算をする。 [用語・記号] 同類項	○同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算ができる。 ○多項式の加法や減法の計算方法を理解し、計算ができる。	○既習の計算方法と関連づけて、2 つの文字をふくむ同類項をまとめる計算を考え、説明することができる。 ○マジックシートの仕組みが成り立つことを、文字を使って説明することができる。	
		4	多項式と数の乗法や除法の計算ができる。	・1 年で学習した多項式と数の乗法の計算を振り返って、2 つの文字をふくむ計算について考える。 ・多項式と数の乗法や除法の計算をする。	○多項式と数の乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。	○既習の計算方法と関連づけて、2 つの文字をふくむ多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。	
		5	いろいろな多項式の計算ができる。	・いろいろな多項式の計算をする。	○いろいろな多項式の計算ができる。		

	2 単項式の乗法と除法 (教科書 p. 19～21)	6	単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。	・単項式の乗法や除法の計算方法を、面積図を使って考える。 ・単項式どうしの乗法や除法の計算をする。	○単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。	○単項式の乗法や除法の計算方法を、面積図を用いて考え、説明することができる。 ○誤りのありのある単項式どうしの除法について、誤りを指摘することができる。	○単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。					
		7	単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。 また、式の値をくふうして求めることができる。	・単項式どうしの乗法と除法の混じった式を計算する。 ・式の値をくふうして求める方法を考え、その方法で式の値を求める。	○単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。 ○式の値をくふうして求めることができる。	○式の値をくふうして求める方法を考え、説明することができる。 ○誤りのある単項式どうしの乗法と除法の混じった計算について、誤りを指摘することができる。	○式の値をくふうして求める方法を考えようとしている。					
	基本の問題 (教科書 p. 22)	8										
2 文字式の利用	数の性質を説明するには？ (教科書 p. 23)	9	具体的な数の計算をもとに数の性質を見だし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。	・3 つの続いた整数の和の性質を、具体的な数の計算をもとに予想し、その予想がいつでも成り立つことを説明するには文字を使えばよいことを知る。	○文字を使うと、数の性質を一般的に説明することができることを理解している。		○文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。					
	1 式による説明 (教科書 p. 24～26)							10	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	・3 つの続いた整数の和は3 の倍数であることを、文字を使って説明する。 ・3 つの続いた整数の和が3 の倍数であることの説明を読んで、新たな性質を見いだしたり、問題の条件の「3 つ」を「5 つ」に変えて考えたりする。	○文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。	○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○文字を使った説明を読んで新たな性質を見いだしたり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考え説明したりすることができる。
								11	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	・2 けたの自然数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との和の性質を予想し、その予想がいつでも成り立つことを、文字を使って説明する。 ・問題の条件の「和」を「差」に変えて考える	○文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。	○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○問題の条件を変えて統合的・発展的に考え、説明することができる。
	スタート地点を決めよう (教科書 p. 27～28)	12	身のまわりの場面において、文字を使って数量の関係を見だし、説明することができる。	・となり合うレーンの1 周の長さの差を求め、どのとなり合うレーンでも、1 周の長さの差は等しいことを見いだす。	○文字を使って数量の関係を表すことができる。	○身のまわりの場面において、文字を使って数量の関係を見だし、説明することができる。	○身のまわりの場面において、文字を使って数量の関係を見だそうとしている。					

	2 等式の変形 (教科書 p. 29～31)	13	目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。	・具体的な問題の中の数量の間の関係を等式で表し、その等式を成り立たせる文字の値を求める。 ・等式を変形して、ある文字について解く。	○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。 ○等式を変形して、ある文字について解くことができる。	○等式の性質を利用して、変形した式の意味を考えたり、具体的な問題を解決したりすることができる。	○目的に応じて等式を変形することの必要性を考えようとしている。
		14					
		基本の問題 (教科書 p. 31)	14				
章の問題 A (教科書 p. 32)		15					

2 章 方程式を利用して問題を解決しよう【連立方程式】（12 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・2 元 1 次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立 2 元 1 次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立 2 元 1 次方程式を解くことができる。	・1 元 1 次方程式と関連づけて、連立 2 元 1 次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立 2 元 1 次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・連立 2 元 1 次方程式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・連立 2 元 1 次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立 2 元 1 次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	連立方程式とその解き方	1	求めたい数量が 2 つある問題を、既習の 1 元 1 次方程式などを活用して解決することができる。	・3 点シュートと 2 点シュートの本数を、すべての組み合わせを調べたり、1 次方程式をつくったりして求める。		○求めたい数量が2つある問題を、既習の 1 元 1 次方程式などを活用して解決することができる。	○1 元 1 次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、2 元 1 次方程式の必要性和意味を考えようとしている。
		2	2 元 1 次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。	・2 元 1 次方程式とその解の意味を知る。 ・連立方程式とその解の意味を知る。 [用語・記号] 2 元 1 次方程式、（2 元 1 次方程式の）解、連立方程式、（連立方程式の）解、（連立方程式を）解く	○2 元 1 次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式とその解の意味を理解している。		○連立 2 元 1 次方程式の必要性和意味を考えようとしている。
		3	連立方程式では、1 つの文字を消去して 1 次方程式をつくれれば解けることを理解する。	・具体的な問題で、2 つの式を比べて 1 つの文字を消去する方法を考える。 ・文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解く。 [用語・記号] 消去する	○連立方程式では、1 つの文字を消去して 1 次方程式をつくれれば解けることを理解している。 ○文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解くことができる。	○文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式で、1 つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。	○1 元 1 次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考えようとしている。
	2 連立方程式の解き方 (教科書 p. 40～45)	4	加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	・文字の係数の絶対値が等しくない場合の連立方程式を解く。 [用語・記号] 加減法	○加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	○文字の係数の絶対値が等しくない場合の連立方程式で、1 つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。	
		5	代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	・求めたい数量が 2 つある問題で、連立方程式と 1 次方程式と関連づけて、文字を消去する方法を考える。 ・連立方程式を代入法で解く。 ・連立方程式を適当な方法で解く。 [用語・記号] 代入法	○代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ○問題の連立方程式に応じて適切な解法を選ぶことができる。	○一方の式を他方の式に代入し、文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○連立方程式の解き方を振り返って、加減法と代入法を統合的に捉えることができる。	

	3 いろいろな連立方程式 (教科書 p. 46～47)	6	かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。	・かっこをふくむ連立方程式を解く。 ・係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解く。	○かっこをふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 ○係数に小数や分数をふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。	○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考え、説明することができる。	○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考えようとしている。
		7	$A=B=C$ の形をした連立方程式を解くことができる。	・ $A=B=C$ の形をした連立方程式を解く。	○ $A=B=C$ の形をした連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。		
	基本の問題 (教科書 p. 48)	7					
2 連立方程式の利用	プリンとケーキを何個買う？ (教科書 p. 49～50)	8	具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。	・プリンとケーキの個数を、連立方程式を利用して求めることについて考える。 ・連立方程式を利用して問題を解決するときの手順を確認する。	○具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。 ○連立 2 元 1 次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。	○連立 2 元 1 次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 ○求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。	○連立 2 元 1 方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ○連立 2 元 1 方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。
	1 連立方程式の利用 (教科書 p. 51～53)	9	個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	・個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決する。			
		10	速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	・速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決する。			
		11	割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	・割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決する。			
	章の問題 A (教科書 p. 54)	12					

3 章 関数を利用して問題を解決しよう [1 次関数]（19 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1 次関数について理解している。 ・事象の中には 1 次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2 元 1 次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・1 次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1 次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	・1 次関数として捉えられる 2 つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 ・1 次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1 次関数のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・1 次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1 次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 1 次関数	80℃になるまでの時間は？ (教科書 p. 57～59)	1	具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。	・水が 80℃になるまでの時間を調べるために、水の温度の上がり方を、表やグラフを用いて調べる。		○具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係について、表やグラフを用いて調べ、一定の割合で変化していることを見だし、説明することができる。	○1 次関数の必要性和意味を考えようとしている。
	1 1 次関数 (教科書 p. 60～61)	2	1 次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。	・1 次関数の意味を知る。 ・ y を x の式で表して、 y は x の 1 次関数であるかどうかを調べる。 ・比例や反比例は、1 次関数であるといえるかどうかを考える。 [用語・記号] y は x の 1 次関数である	○1 次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。 ○比例 $y=ax$ は、1 次関数 $y=ax+b$ で $b=0$ の特別な場合であることを理解している。	○ y を x の式で表して、 y は x の 1 次関数であるかどうかを考察し、説明することができる。	
2 1 次関数の性質と調べ方	1 次関数の性質を調べてみよう (教科書 p. 62)	3	1 次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解する。	・1 次関数の値の変化を調べ、比例との共通点やちがいについて話し合う。 ・1 次関数の変化の割合について調べる。 ・具体的な事象において、1 次関数の変化の割合が何を意味しているかを読みとる。 ・反比例の変化の割合について調べる。 [用語・記号] 変化の割合	○1 次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解している。 ○1 次関数 $y=ax+b$ で、 x の増加量から y の増加量を求めることができる。 ○具体的な事象において、1 次関数の変化の割合が何を意味しているかを読みとることができる。	○1 次関数の値の変化の特徴を見だし、説明することができる。	○1 次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。
	1 1 次関数の値の変化 (教科書 p. 63～64)						

	21次関数のグラフ (教科書 p. 65～70)	4	1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解する。また、1次関数のグラフの切片の意味を理解する。	・1次関数のグラフがどのようなになるかを、点を細かくとって調べる。 ・1次関数 $y=ax+b$ のグラフと比例 $y=ax$ のグラフの関係について調べる。 [用語・記号] 切片	○1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解している。 ○1次関数のグラフの切片の意味を理解している。	○1次関数のグラフの特徴を見だし、説明することができる。	○比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。 ○1次関数の式とグラフを関連づけて、1次関数の特徴を捉えようとしている。
		5	1次関数のグラフの傾きの意味を理解する。	・1次関数の変化の割合は、グラフではどのようなことを表しているかを調べる。 ・1次関数について、グラフの傾きと切片をいう。 ・1次関数の増減とグラフの特徴についてまとめる。 [用語・記号] 傾き	○1次関数のグラフの傾きの意味を理解している。 ○1次関数の値の増減とグラフの特徴を理解している。	○グラフの傾きと切片から、そのグラフが表す式を考察することができる。	
		6	1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。また、1次関数について、グラフをもとに x の変域に対応する y の変域を求めることができる。	・1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかく。 ・1次関数の表、式、グラフの関係についてまとめる。 ・1次関数について、グラフを使って x の変域に対応する y の変域を求める。	○1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。 ○1次関数について、グラフをもとに x の変域に対応する y の変域を求めることができる。	○1次関数の表、式、グラフを、相互に関連づけて考え、説明することができる。	
	31次関数の式を求める方法 (教科書 p. 71～73)	7	グラフの傾きと切片を読みとって、1次関数の式を求めることができる。	・グラフの傾きと切片を読みとって、1次関数の式を求める。	○グラフの傾きと切片を読みとって、1次関数を求めることができる。		○1次関数の式を求める条件や求める方法を考えようとしている。
		8	グラフの傾きと通る1点から、1次関数の式を求めることができる。	・グラフの傾きとグラフが通る1点の座標から、1次関数の式を求める。	○グラフの傾きと通る1点の座標から、1次関数の式を求めることができる。		
		9	グラフが通る2点から、1次関数の式を求めることができる。	・グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求める。	○グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。		
	基本の問題 (教科書 p. 74)	10					

32元1次方程式と1次関数	連立方程式の解はどうなるかな？ (教科書 p. 75)	11	2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。	・連立方程式の解について調べるために、2元1次方程式の解を座標とする点をとって、どのようなグラフになるかを調べる。 ・2元1次方程式のグラフは、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを知る。 ・2元1次方程式のグラフを、式を変形して1次関数の傾きと切片を求めてかく。 [用語・記号] 方程式のグラフ	○2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解している。		○2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。
	12元1次方程式のグラフ (教科書 p. 76～79)						

		12	2元1次方程式のグラフをかくことができる。また、2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。	・2元1次方程式のグラフを、グラフが通る2点の座標を求めてかく。 ・2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフをかいて、その特徴を調べる。	○2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ○2元1次方程式 $ax+by=c$ で、 $a=0$ や $b=0$ の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。		
	2 連立方程式とグラフ (教科書 p. 80～81)	13	連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。	・連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを確かめる。 ・連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりする。	○連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。	○連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。	
	基本の問題 (教科書 p. 82)	14					
4 1次関数の利用	飲み物はいつまで冷たく保てる？ (教科書 p. 83～84)	15	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。	・飲み物がいつまで冷たく保てるかを、測定した時間と温度をもとにして予想し、その方法を説明する。	○身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決できる場面があることを理解している。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。	○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	1 1次関数とみなすこと (教科書 p. 85)	16	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する。		○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。	
	2 1次関数のグラフの利用 (教科書 p. 86～87)	17	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決する。	○1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	
	3 1次関数と図形 (教科書 p. 88)	18	図形の辺上を動く点によってできる図形の面積の変化を、1次関数の式やグラフで表すことができる。	・図形の辺上を動く点によってできる図形について、面積の変化を調べる。	○1次関数の関係を、変域ごとに式やグラフで表すことができる。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、変域によって場合分けをして考え、説明することができる。	
章の問題A (教科書 p. 92)		19					

4 章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] (15 時間)

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。	・証明のよさに気づき、その証明の方法を粘り強く考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 説明のしくみ	角の性質の説明では何をもとにしているかな？ (教科書 p. 95～97)	1	多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	・算数で学習した三角形の角の和が 180° であることをもとにして、四角形、五角形、…などの多角形の角の和の求め方を説明する。		○多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	○多角形の角についての性質の説明で、もとにしていることがらを考えようとしている。
	1 多角形の角の和の説明 (教科書 p. 98～100)	2	n 角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	・ n 角形の内角の和の求め方を、多角形をどのように三角形に分けるか、また、いくつの三角形に分かれるかをもとにして説明する。 [用語・記号] 外角、内角	○多角形の内角、外角の意味を理解している。 ○多角形の内角の和の性質は、三角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。	○ n 角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	
		3	n 角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	・ n 角形の外角の和の求め方を、 n 角形の内角の和をもとにして説明する。	○多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。	○ n 角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	
2 平行線と角	説明でもとにしていることがらを調べてみよう (教科書 p. 101)	4	対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	・算数で学習した三角形の内角の和が 180° であることの説明を振り返り、何を根拠にしているかを考える。 ・対頂角の意味を知る。 ・対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明する。 ・同位角、錯角の意味を知る。 [用語・記号] 対頂角、同位角、錯角	○対頂角の意味と性質を理解している。	○角について、成り立つことがらを見だし、説明することができる。 ○対頂角が等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	○証明の必要性和意味を考えようとしている。
	1 平行線と角 (教科書 p. 102～106)						
		5	同位角、錯角の意味を理解し、平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。	・平行線と同位角の関係を、基本性質として確認する。 ・平行線と錯角の関係を、平行線と同位角の関係をもとにして説明する。	○同位角、錯角の意味を理解している。 ○平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。	○平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。	

		6	三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	- 三角形の内角の和が 180° であることを、平行線の性質をもとにして説明する。 - 証明の意味を知る。 - 三角形の外角は、となり合わない2つの内角の和に等しいことを見いだす。 - 三角形の内角、外角の性質や多角形の内角の和、外角の和の性質を利用して、角の大きさを求める。 [用語・記号] 証明	○証明の意味を理解している。 ○三角形の内角、外角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ○多角形の内角の和、外角の和の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	○三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	
	角の大きさを求める方法を考えてみよう (教科書 p. 107～109)	7	角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。	・平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え、図にかき加えた線や、根拠となる図形の性質を明らかにして説明する。		○角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。	○平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 110)	8					
3 合同な図形	図形の合同を調べるには？ (教科書 p. 111)	9	平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。	・三角形が合同になる条件を考える。 ・平面図形の合同の意味と表し方を知る。 ・合同な図形の性質を確認する。 [用語・記号] 合同、 $\equiv$	○平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 ○合同な図形の性質を理解している。		○三角形が合同になる条件を考えようとしている。 ○平面図形の合同の意味を考えようとしている。
	1 合同な図形の性質と表し方 (教科書 p. 112)						
	2 三角形の合同条件 (教科書 p. 113～115)	10	三角形の合同条件を理解する。	・ある三角形と合同な三角形をかくためには、何がわかればよいかを考える。 ・三角形の合同条件を確認する。	○三角形の合同条件を理解している。	○三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考え、説明することができる。	○三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。
		11	2 つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。	・2 つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断する。	○三角形の合同条件を利用して、2 つの三角形が合同かどうかを判断することができる。		○三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。

	3 証明のすすめ方 (教科書 p. 116～121)	12	ことがらの仮定と結論の意味を理解する。	・角の二等分線の作図の方法が正しいことを、三角形の合同条件を利用して証明することについて考える。 ・ことがらの仮定と結論の意味を知る。 [用語・記号] 仮定、結論	○ことがらの仮定と結論の意味を理解している。		○証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。
	13	根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明する。 ・証明の書き方を確認する。 ・証明のためにかいた図と、仮定が同じで異なる図をかいた場合、その証明がどうかを考える。	○証明の進め方を理解している。 ○証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。	○証明の根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。		
	基本の問題 (教科書 p. 121)	14					
章の問題 A (教科書 p. 122)		15					

5 章 図形の性質を見つけて証明しよう【三角形と四角形】（21 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	・証明のよさに気づき、その方法を粘り強く考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 三 角 形	直角ができるのはなぜ？ (教科書 p. 125～127)	1	あたえられた手順で、いつでも直角ができる理由を考え、説明することができる。	・あたえられた手順でひもを操作し、直角ができることを確認する。 ・ひもの操作を図に表し、2 つの三角形に着目して、いつでも直角ができるわけを考える。 ・二等辺三角形の定義を確認する。 [用語・記号] 定義	○二等辺三角形の定義を理解している。	○あたえられた手順で、いつでも直角ができる理由を考え、説明することができる。	○平面図形の性質について学んだことを生活に生かそうとしている。
	1 二等辺三角形の性質 (教科書 p. 128～132)	2	二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。	・二等辺三角形の 2 つの角は等しいことを証明する。 ・二等辺三角形の底角の性質を利用して、角の大きさを求める。 [用語・記号] 頂角、底辺、底角、定理	○二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味を理解している。 ○二等辺三角形の底角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	○二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。	○二等辺三角形の性質を証明する方法を考えようとしている。
		3	二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また、正三角形の性質を証明することができる。	・二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで、頂角の二等分線の性質を見だし、証明する。 ・正三角形の定義を確認する。 ・正三角形の 3 つの角は等しいことを証明する。	○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を理解している。 ○正三角形の定義と性質を理解している。	○二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで頂角の二等分線の性質を見だし、証明することができる。 ○正三角形の性質を証明することができる。	
	2 二等辺三角形になるための条件 (教科書 p. 133～135)	4	二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめることができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	・紙テープを折って重なる部分の三角形はどんな三角形かを調べる。 ・2 つの角が等しい三角形の 2 辺は等しいことを証明する。 ・二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。	○二等辺三角形になるための条件を理解している。 ○二等辺三角形になるための条件の証明において、辺や角の関係などを読みとることができる。	○2 つの角が等しい三角形の 2 辺は等しいことの証明について考察することができる。 ○二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	○二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。

		5	ことがらの逆と反例の意味を理解する。	・二等辺三角形の底角の性質と二等辺三角形になるための条件を比べる。 ・ことがらの逆と反例の意味を知る。 [用語・記号] 逆、反例	○ことがらの逆と反例の意味を理解している。		
	3 直角三角形の合同 (教科書 p. 136～138)	6	直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。	・2 つの直角三角形はどんなときに合同であるかを考え、説明する。 ・2 つの直角三角形が合同かどうかを、直角三角形の合同条件を使って判断する。 [用語・記号] 斜辺	○直角三角形の合同条件を理解している。	○直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。	○直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。
		7	直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	・直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明する。 ・証明を振り返って、さらにわかることを考え、説明する。	○直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	○証明を振り返って、新たな性質を見いだすことができる。	○直角三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 138)	8					
2 平行四辺形	テープを重ねてできる図形は？ (教科書 p. 139)	9	平行四辺形の定義と性質を理解する。	・2 つのテープが重なる部分の四角形は、どんな四角形になるかを調べる。 ・平行四辺形の定義と性質を確認する。 [用語・記号] 対辺、対角、 $\square$ ABCD	○平行四辺形の定義と性質を理解している。		○平行四辺形の性質を証明する方法を考えようとしている。
	1 平行四辺形の性質 (教科書 p. 140～142)	10	平行四辺形の性質を証明することができる。	・平行四辺形の性質を証明する。		○平行四辺形の性質を証明することができる。	
		11	平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	・平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明する。 ・証明のための図をかいて、どんな図でも証明できていることを確認する。	○証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。	○平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	○平行四辺形の性質を学習に生かそうとしている。
	2 平行四辺形になるための条件 (教科書 p. 143～147)	12	具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件 2 を証明することができる。	・ロボットが動くようすから、その仕組みについて考察する。 ・2 組の対辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。		○具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件 2 を証明することができる。	○平行四辺形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。
		13	平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件 3、4 を見いだすことができる。	・2 組の対角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。 ・対角線がそれぞれの中点で交わる四角形は、平行四辺形であることを証明する。	○平行四辺形になるための条件の証明において、辺や角の関係などを読みとることができる。	○平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件 3、4 を見いだすことができる。	

		14	平行四辺形になるための条件 ⑤ を証明することができる。	• あたえられた手順でノートに図をかくと、どんな四角形になるかを考える。 • 1 組の対辺が平行でその長さが等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。 • 平行四辺形になるための条件を確認する。	○平行四辺形になるための条件を理解している。	○平行四辺形になるための条件 ⑤ を証明することができる。	
		15	平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。	• 平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。 • 平行四辺形になるための条件を利用した証明を振り返って、統合的・発展的に考える。		○平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。	○平行四辺形になるための条件を学習に生かそうとしている。
3 特別な平行四辺形 (教科書 p. 148～150)		16	長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。	• 2 つのテープの重なる部分が長方形やひし形、正方形になるのはどんなときかを考える。 • 長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明する。	○長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解している。	○長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明することができる。	○長方形、ひし形、正方形と平行四辺形との相互関係を捉えようとしている。
		17	長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。また、その性質の逆が正しくないことを、反例をあげて示すことができる。	• 長方形やひし形の対角線の性質を証明する。 • 長方形の対角線の性質をもとにして、直角三角形の斜辺の midpoint の性質を証明する。 • 長方形やひし形の対角線の性質について、その逆が正しいかどうかを調べる。	○長方形やひし形の対角線の性質を理解している。	○長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。 ○長方形やひし形の対角線の性質の逆が正しくないことを、反例をあげて証明することができる。	
2 つの正三角形の性質は？ (教科書 p. 151～152)		18	既習の内容を活用して、図形の性質を見だし証明したり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考えたりすることができる。	• 1 点を共有する 2 つの正三角形の頂点について成り立つ性質を予想し、その性質を証明する。 • 一方の正三角形を回転させても、同じ性質が成り立つことを証明する。		○既習を活用して、図形の性質を見だし証明したり、統合的・発展的に考えたりすることができる。	○平面図形の性質や図形の合同について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
4 平行線と面積 (教科書 p. 153～154)		19	平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	• 台形に対角線をひいた図の中にある面積の等しい三角形を見つける。 • 底辺を共有し、その辺に平行な直線上に頂点をもつ三角形の面積は等しい理由を考える。 • 多角形を、面積を変えずに変形する方法を考える。	○底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。 ○平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	○平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、その方法や手順を説明することができる。	○平行線の性質を学習に生かそうとしている。
基本の問題 (教科書 p. 155)		20					
章の問題 A (教科書 p. 158)		21					

6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]（9 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 確率	くじを先にひく？あとにひく？ (教科書 p. 161～163)	1	多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読みとり、説明することができる。	・3枚のうち1枚があたりであるくじをひくとき、何番目にひくとあたりやすいかを予想し、多数回の実験によって確かめる。		○多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読みとり、説明することができる。	○場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。
	1 同様に確からしいこと (教科書 p. 164～168)	2	多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。	・1つのさいころを投げるとき、1の目が出る確率を、実験によらずに求める方法を考える。 ・どの場合が起こることも同様に確からしいときは、場合の数をもとにして確率を求めることができることを知る。 ・確率 p の値の範囲が、 $0 \leq p \leq 1$ であることを確認する。 [用語・記号] 同様に確からしい	○多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解している。 ○確率 p の値の範囲が、 $0 \leq p \leq 1$ であることを理解している。	○実験によらずに確率を求める方法を、場合の数に着目して考え、説明することができる。 ○確率の意味をもとにして、誤りがあることがらを指摘することができる。	
		3	起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。	・2枚の硬貨を投げるとき、表と裏の出方を3通りとして求めた確率と、実験結果が異なった理由を考える。 ・起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求める。 [用語・記号] 樹形図	○起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。	○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明することができる。 ○確率をもとにして、ことがらの起こりやすさを比較し、説明することができる。	

	2 いろいろな確率 (教科書 p. 169～171)	4	起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。また、起こりうる場合を 2 次元の表に整理し、確率を求めることができる。	・起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求める。 ・起こりうる場合を 2 次元の表に整理し、確率を求める。	○起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。 ○起こりうる場合を 2 次元の表に整理し、確率を求めることができる。		
		5	あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。	・あることがらの起こらない確率の求め方を考える。 ・あることがらの起こらない確率を求める。	○あることがらの起こらない確率の求め方を理解している。	○あることがらの起こらない確率を、場合の数について成り立つ関係に着目して考え、説明することができる。 ○あることがらの起こらない確率に着目して、確率を求めることができる。	
	基本の問題 (教科書 p. 172)	6					
2 確率による説明	出やすい組み合わせは？ (教科書 p. 173～174)	7	身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	・2 枚のスクラッチカードを削るとき、どの組み合わせが出やすいかを、確率をもとにして考え、説明する。		○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 ○同様に確からしいことに着目し、起こりうる場合の数え方の誤りを指摘することができる。	○不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	1 確率による説明 (教科書 p. 175)	8	身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	・くじびきの順番とあたりやすさの関係を、確率をもとにして考え、説明する。		○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	
章の問題 A (教科書 p. 176)		9					

7章 データを比較して判断しよう【データの比較】（5 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 四分位範囲と箱ひげ図	牛乳の販売数の傾向は？ (教科書 p. 179～181)	1	複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。	・牛乳の1日ごとの販売数の傾向を、データを用いて調べる方法について話し合う。		○2つのヒストグラムから、データの分布の傾向を比較して読みとり、説明することができる。	○既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。
	1 四分位数と箱ひげ図 (教科書 p. 182～187)	2	箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。	・牛乳の販売数のデータを整理し、箱ひげ図に表す方法を知る。 ・四分位範囲の意味を知る。 [用語・記号] 箱ひげ図、四分位数、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲	○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ○箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解している。 ○箱ひげ図からデータの分布の傾向を読みとる方法を理解している。 ○箱ひげ図とヒストグラムの対応を理解している。	○箱ひげ図からヒストグラムのおおよその形を考察し、説明することができる。	○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。
		3		・牛乳の販売数のデータを整理し、箱ひげ図に表す。 ・ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて、箱ひげ図からデータの分布の傾向や特徴を読みとる方法を考える。 ・箱ひげ図とヒストグラムの対応について知る。			
		4	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。	・箱ひげ図を用いて、牛乳の販売数の傾向を調べる。 ・牛乳の販売数の傾向を読みとり、批判的に考察し判断する。	○箱ひげ図と四分位範囲の必要性を理解している。	○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断することができる。	○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
章の問題A (教科書 p. 190)		5					

令和7年度

台東区立浅草中学校

第2学年 理科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分		34%	33%	33%
具体的 評価資料		・テスト ・小テスト ・レポート ・発言 ・提出物(課題) ・授業態度	・テスト ・レポート ・発言 ・ワークシート ・小テスト	・レポート ・発言 ・課題 ・活動観察 ・小テスト
領域	単元			
化学	原子・分子と化学変化	化学変化と原子・分子についての基本的な概念・原理・法則を理解し知識を身につける。 酸化と還元について理解する。 化学変化と熱の出入りについて理解している。 物質の成り立ち、化学変化と原子・分子に関する実験を行い基礎操作を習得するとともに、実験の報告書を作成することができる。 化学変化をモデルや化学式を使って正しく表すことができる。	物質の成り立ち、化学変化と原子・分子に関する現象について、事象の生じる要因やしくみを科学的に考察できる。 化学変化の前後の質量の測定をもとに、その規則性を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	物質の成り立ち、化学変化と原子分子に関する事物に関心をもち、それらの事象を日常生活と関連づけて考察しようとする。 化学変化に興味をもち、身のまわりの現象と関連づけて調べようとする。
物理	電気の世界	電流事象についての基本的な原理・法則を理解し、知識を身につける。 静電気・電流・電圧・抵抗・電磁石・誘導電流・電力などについて正しい知識を身につけた。 電流が電子の流れであることを理解する。 電力量・熱量・直流と交流の違いについての知識を身につけている。 電流事象についての実験の基礎操作を習得し、実験報告書を作成し発表することができる。 電気製品などを使い、発熱量や電力量などを説明できる。 コイル、磁石を使い電磁誘導が生じる条件を見いだすことができる。	電流の観察・実験を行い結果を予想したり規則性を見出して問題を解決できる。 磁界の向き、電流の向きからコイルのまわりにはたらく力の向きを予測できる。 電流という見えないものを水の流れなどに置き換えて表現している。	電流の利用に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察・実験を行い考察しようとする。 電磁石や棒磁石を意欲的に活用する。 家庭の電力量などを積極的に調べようとする。
生物	生物のからだのつくりとはたらき	生物(植物・動物)のからだのつくりとはたらきについて理解し、知識を身につける。 細胞と生物についての知識を身につける。 植物・動物のからだのつくりとはたらき、生物と細胞に関する観察・実験を行い、基礎操作を習得するとともに規則性を見いだす。 ヒトの消化、吸収を実験器具などを活用して説明できる。 動物の動くためのしくみを骨格と関連づけて説明できる。	植物・動物のからだのつくりとはたらき、生物と細胞について事象の要因やしくみを分析的、総合的に考察できる。 消化・吸収・循環・排出などの仕組みについて、自らの考えを導き、表現している。	植物・動物のからだのつくりとはたらき、生物と細胞、なかまに関する事物に関心をもち、自然環境を保全し生命を尊重しようとする。 ヒトの体に関心をもち、ノートなどにわかりやすくまとめようとする。
地学	天気と気候の変化	天気の変化に関する事物・現象について理解し、知識を身につける。 地球上での水の循環について理解している。 日本の天気の特徴について理解している。 天気の変化に関する観察・実験を行い規則性を見いだし実験報告書を作成することができる。 気圧配置や気象要素から、1日または四季の天気の関係を見いだすことができる。	天気の変化に関する現象の生じる要因やしくみを、時間、空間と関連づけて考えることができる。 気圧の変化と天気の成り立ちを正しく説明できる。 前線や低気圧についてその関係などについて自ら考えを導き、表現している。	天気の変化に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に探求しようとする。 毎日の天気に関心をもち、疑問点を調べようとする。

【聞くこと】

目標		
● 短く簡単なルールの説明やアナウンスを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ● 身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。 ● 日常的な話題の説明や会話（プレゼントの相談など）を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 2年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 2年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について（はっきりと）話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ 短く簡単なルールの説明やアナウンスを聞いて、自分が必要な情報を聞き取っている。 ・ 身近なことがらについての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取っている。 ・ 日常的な話題の説明や会話（プレゼントの相談など）を聞いて、重要な情報を聞き取っている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ 短く簡単なルールの説明やアナウンスを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ろうとしている。 ・ 身近なことがらについての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ろうとしている。 ・ 日常的な話題の説明や会話（プレゼントの相談など）を聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。

【読むこと】

目標		
● メニューや看板を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ● コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。 ● 時間順に書かれた短い物語を読んで、そのあらすじをつかむことができる。 ● スピーチ原稿やインタビュー記事を読んで、その人の意見のポイントを読み取ることができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 2年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 2年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について書かれた文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ メニューや看板を読んで、自分が必要な情報を読み取っている。 ・ コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取っている。 ・ 時間順に書かれた短い物語を読んで、そのあらすじをつかんでいる。 ・ スピーチ原稿やインタビュー記事を読んで、その人の意見のポイントを読み取っている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ メニューや看板を読んで、自分が必要な情報を読み取ろうとしている。 ・ コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取ろうとしている。 ・ 時間順に書かれた短い物語を読んで、そのあらすじをつかもうとしている。 ・ スピーチ原稿やインタビュー記事を読んで、その人の意見のポイントを読み取ろうとしている。

【話すこと（やり取り）】

目標		
●自分の予定や思い出について、即興で伝え合うことができる。 ●身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、メモを見ながら、簡単な話し合いをすることができる。 ●社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、簡単なディスカッションができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 2年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、2年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、（即興で）伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の予定や思い出について、即興で伝え合っている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、メモを見ながら、簡単な話し合いをしている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の予定や思い出について、即興で伝え合おうとしている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、メモを見ながら、簡単な話し合いをしようとしている。

【話すこと（発表）】

目標		
●自分の町について、即興で簡単な紹介ができる。 ●将来の夢について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、発表することができる。 ●読んだ英文の内容について、考えたことやその理由を話すことができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 2年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、2年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、（即興で）話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の町について、即興で簡単な紹介している。 ・将来の夢について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、発表している。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の町について、即興で簡単な紹介しようとしている。 ・将来の夢について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、発表しようとしている。

【書くこと】

目標		
●自分の所属するグループを紹介するポスターを書くことができる。 ●事実や自分の考えを整理して、（行きたい国や日本らしいおみやげなどについての）エッセイやカードを書くことができる。 ●読んだ英文の内容をふまえて、考えたことやその理由を書くことができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 2年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、2年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の所属するグループを紹介するポスターを書いている。 ・事実や自分の考えを整理して、（行きたい国や日本らしいおみやげなどについての）エッセイやカードを書いている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・自分の所属するグループを紹介するポスターを書こうとしている。 ・事実や自分の考えを整理して、（行きたい国や日本らしいおみやげなどについての）エッセイやカードを書こうとしている。

第2学年 音楽科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的 評価資料		授業への取り組み ワークシート 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み ワークシート 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み態度 提出物 ワークシート 自己評価票 期末テスト
領域	単元			
表現		・音程やリズムを正確に表現することができる。 ・声域や曲想にあった響きのある発声法を身につけ表現できる。 ・旋律の特徴や歌詞の美しさに関心を持ち、イメージを持って意欲的に歌うことができる。	・読譜の基礎基本を学び、音楽の用語や記号を理解し、表現として表すことができる。 ・楽曲を形づくっている要素を知覚し、意図をもった表現を工夫する。	・音楽に親しみ、音楽表現に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。 ・クラスの仲間と協力し、合唱を創りあげようとしている。 ・音楽表現の特徴や曲想に関心を持ち、表現活動をすることに意欲的に取り組むことができる。
鑑賞		・作曲家や時代背景について理解を深め、良さや美しさを味わって聴くことができる。	・多様な楽曲を鑑賞し、形づくっている音楽的な要素や特徴を知覚し、言葉で表現できる。 ・楽曲の雰囲気や曲想を感受し、感想として表現できる。	・多様な音楽に関心を持ちながら、特徴や曲想などに関心を持ち、意欲的に鑑賞活動に取り組み、楽曲のよさや美しさを味わうことができる。

第2学年 美術 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的評価資料		授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、ワークシート、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、鑑賞、提出物、定期考査
領域	単元			
鑑賞	デッサン・彫刻・工芸		東洋・西洋の美術の作品について、表現形式のよさや美しさ、相違点や類似点を感じ取り、共通に存在する造形美や芸術精神を理解できる。	作家によるテーマ設定や独自の装飾的表現などに興味を抱き、日本や海外の作品の造形美に対して関心を持つ。作品から作者の思いを感じ取るとともに、気づいた点を発表しあうなどして、造形表現の特色についての理解を深める。
表現	絵画・彫刻	美しい形を創造するための知識を深め、描画材を工夫して活用し、効果的に表すことができる。対象の持つ形や色や材質の特徴を観察し、材質感や立体感などを表すことができる。彫刻刀を正しく使い、数種類の彫り方ができる。彫り方が丁寧で、仕上がりが美しくなるように制作することができる。	対象の持つ形の特徴を受け止め、視点や構図を工夫して、画面に取り入れることができる。感性や想像力を働かせて、考えたことを基に主題を生成し、創造的に構図を工夫し、豊かに構想を練ってる。	対象の持つ色や形からそのおもしろさを発見し新鮮な気持ちを持って表そうとする。見慣れた物にも形や色や材質のおもしろさや特徴があることに興味を持ち、意識的に観察でき粘り強く作品を仕上げようとする。
	（デッサン）色彩	色彩の持つ性質や特性を生かし、配色の効果を工夫して美しく彩色できる。	色彩の持つ性質や特性を生かして、意図にあった配色が構想豊かにできる。	色の持つ性質や特性を知り、配色効果を考え工夫してより美しいものをつくることに対して興味や関心を持つようとする。
	（デッサン）平面	構成の美の要素を理解して、自分なりの構想を持って独自の構成作品づくりを進める。感性や造形感覚を働かせて、形や色の表し方、意図に応じた材料の工夫、制作の順序などを考え、創意工夫して表現している。	構成の美の要素の機能や構成効果などを考え、それを使って新鮮で独自の構成ができる。日本や諸外国の伝統的な形や色の特徴を生かし、表現することに関心を持ち、構想を練り材料や用具を生かしている。	構成の美の要素の機能や構成効果を意識しながら新鮮で独自の構成に生かそうとする。日本や諸外国の伝統的な形や色の特徴を生かして表現することに関心を持ち、構想を練り材料や用具を生かしている。
	工芸	材料の特性を生かし、用途や機能、使用する者の気持ちを考え、自己の表現したい内容と他者への思いやりの心に基づいて創意工夫して表現する。	材料の持つ性質や特質を理解し、自ら自分らしい発想をすることができる。	下絵づくりから成形、表面の仕上げまで根気よく制作しようとする。つくり手の意図などを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて関心を深める。

第2学年

技術家庭科観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的 評価資料		・定期考査 ・作業、作品、課題 ・課題提出の内容	・定期考査 ・作業、作品、課題 ・振り返りシート ・課題提出の内容	・定期考査 ・授業態度・意欲・忘れ物・発言 ・作業、課題へ取り組み姿勢 ・振り返りシート ・課題提出の内容
領域	単元	技術家庭科共通事項 ・振り返りシートに必要事項を丁寧にまとめ提出物を提出期限までに出している。 ・毎授業の板書事項を丁寧にまとめる。・忘れ物をしない。 ・意欲を持って学習している。		
技術科	材料と加工の技術	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
	エネルギー変換に関する技術	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。	・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。	・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
	情報に関する技術	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 ・情報社会のモラルの重要性を理解し、適切なモラルを理解する。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造すると共に他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協力して、粘り強く取り組もうとしている。
家庭科	衣生活と自立（衣服の選択と手入）	・衣服のはたらきを理解している。 ・布の構造や材料の特徴を理解している。 ・表示の意味を理解している。 ・既製服についている表示を理解し、衣服の選択に生かす。 ・衣服の材料に応じた手入れや補修ができるようにする。	・衣服のはたらきをふまえて、目的に応じたそれぞれの場に合ったふさわしい衣服の着方を工夫する。	・衣服の選択や手入れについて、関心をもって学習している。
	衣生活と自立（生活の工夫）	・作業を計画的に実施できる。 ・ミシンや裁縫道具を目的に合わせて、適切に使用することができる。 ・作品製作の手順を理解している。 ・ミシンや裁縫道具の安全な管理や使用方法について理解している。	・布などの材料を用いて、生活を豊かにするための作品を工夫して製作する。	・衣服に関心をもち、布などを用いて作品を作ろうとしている。
	住生活と自立	・住まいの働きや地域による住まいの特徴を理解している。 ・家族構成の違いによる空間の使い方や快適条件を理解している。 ・自然災害や事故への対策方法を理解している。	・快適に住むための室内環境の整え方（特に安全面について）工夫することができる。 ・家族構成や人数により空間の使い方を改善していく。 ・住まいの危険を考え、改善策を工夫していく。	・自分の住生活を振り返り、住生活について関心をもっている。
	中学と生の栄養食生活	・食事が果たす役割や健康を保持増進する要素を理解する。 ・栄養素の種類と働き、水分のはたらきについて理解する。 ・自分の食習慣を見直し、改善点を考えることができる。 ・栄養素の特徴を知り、中学生に必要な摂取量がわかる。 ・6つの食品群に分けることができる。	・健康によい食習慣を見直し、実践していける工夫を考える。	・自分の住生活を振り返り、栄養素について関心をもっている。
	献立と択食品の選択	・中学生の1日分の献立を主食・主菜・副菜・汁物を組み合わせて考えることができる。 ・さまざまな条件（目的、栄養、価格など）を考えて食品を選択することができる。 ・献立の立て方を理解する。 ・生鮮食品、加工食品についてそれぞれの長所、短所を理解する。	・バランスのよい献立を、自分なりに工夫することができる。	・自分の生活を振り返り、食品について関心をもっている。
	日常生活食文化調理	・それぞれの食品に適した調理方法を理解している。 ・調理器具の適切な使い方や衛生・安全面への配慮を理解している。 ・食生活に関する社会問題（環境など）を理解している。・食品を適切に扱うことができる。 ・調理作業を安全に行なうことができる。	・見た目や衛生面に配慮した調理、盛り付けを工夫する。 ・自分の食生活の課題を見つけ、解決方法を考える。	・自分の生活を振り返り、調理について関心をもっている。

保健体育 第 2 学年 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分		33%		33%	33%
具体的評価資料		・ペーパーテスト ・授業ワークシート	・実技テスト ・授業内観察	・ペーパーテスト ・グループでの話し合い ・授業ワークシート(レポート)	・自ら学ぶ態度 ・自らの学習状況の把握 ・自己調整
領域	単元	1、保健体育に関心をもち、積極的意欲をもって参加している。 3、健康に留意し見学をしないで授業に参加している。 5、各種目を通して、公正・協力・責任などの態度を身につける。 2、進んで各種目に積極的に取り組もうとしている。 4、常に安全に心がけ、身だしなみなどに配慮している。 6、体力を高めるための取り組みを継続する。			
体 育	体 つ く り 運 動	○ラジオ体操・新体力テスト・運動会学年種目 1. 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて理解している。	1、体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	1、運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決目指して行動・判断できる。 2、状況を判断して、協力して記録向上を図る。	○ラジオ体操、組体操、運動会学年種目、新体力テスト 1、自ら進んで体づくり運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。
	器 械 運 動	○バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・ソフトボール・アルティメット 1. 集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうこと特性があることを理解している。 2. 各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるポイントがあることを理解している。	1、基本的な技を、組み合わせ円滑に正しく行うことができる。 2、発展的な技を、正しく行うことができる。	1、自己の能力に応じた技を選択し、課題に応じて技の習得にてきた練習を方法を身に付けている。 2、仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめて、学習課題の取組を工夫できている。	○マット・跳び箱運動 1、技がよりよくできたり、自己に適した技を習得したりするマット運動の楽しさを味わおうとしている。 2、マット運動の危険性から、仲間と協力して安全な場作りや補助をしようとしている。
	陸 上 競 技	○短距離走・長距離走・走り幅跳び・走り高跳び・リレー 1. 自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができる。 2. 各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術での動きのポイントを理解している。	1、長距離走(一定のペース)、ハードル走(3歩のリズム、スムーズなハードリング)、短距離走(クラウチングスタート、スピードに乗ったバトンパス)、走り幅跳び(そりとび、助走スピードを維持した踏切)、走り高跳び(ベリーロール、3歩、5歩の助走)、スムーズなバトンパスができる。	1、自己の能力に適した目標を設定し、効果的な練習法を判断している。 2、協力して、自己の体力に応じた役割を果たすことができる。	○長短距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び 1、全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 2、互いの人格を尊重し、協力して記録向上に努めている。
	水 泳	○クロール・平泳ぎ 1. 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、早く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解している。	1、背泳ぎ、バタフライは手と足、呼吸のバランスを保ち泳ぐことができる。クロールは、手と足、呼吸のバランスを保ち速く泳ぐことができる。平泳ぎは、手と足、呼吸のバランスを保ち長く泳ぐことができる。 2、1泳法で50m以上泳ぐ。 3、10分以上、一定のペースで泳ぎ続けることができる。	1、続けて長く泳いだり、早く泳ぐための目標記録や課題を設定している。	○クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、(バタフライ)、着衣泳 1、水の特性を理解し、積極的に泳法を身につけようとしている。 2、水泳の事故防止の心得や、練習・運動をする上でのルールを守るなど、健康・安全に留意しようとしている。
	球 技	○マット運動・跳び箱運動 1. 器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. 運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることを理解している。	○バスケットボール 1、パス、レイアップシュート、セツシュート、ピボット、数的優位な状況での攻めができる。 ○バレーボール 1、アンダーハンドパス、オーバーヘッドパス、サーブ、アタック、ブロック、3段攻撃ができる。 ○ハンドボール 1、ステップシュート、ジャンプシュートができる。 ○サッカー 1、インサイドキック、インステップキック、トラップ、リフティングができる。 ○ソフトボール 1、攻防を展開するための基本的なバット操作と定位置での守備ができる。 【共通事項】様々な場面に応じたチームプレーができ、チームにおける自己の役割を果たした技能を身に付けている。	1、自己とチームの課題を把握し、解決の手立てを考え、選んでいる。 2、チームにおける自己の役割を考えている。 3、相手チームの技能を的確にとらえ、試合に勝つために、話し合いをし、解決しようとしている。	○バスケットボール、バレーボール、サッカー、ハンドボール、ソフトボール 1、球技の特性を理解し、競争や共同の経験を通して、問題解決のために活動しようとしている。 2、危険なプレー、フェア精神に相応しくないプレーをしないという意識で、練習、ゲーム等、真剣に取り組む、安全に留意しようとしている。
	ダン ス	○ソーラン節・よっちょれ・現代的なリズムのダンス 1. 仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる。	1、ダンスのイメージをとらえた表現や踊りをするための動きを身につけている。	1、ダンスを豊かに実践するため、課題に応じた取り組み方をしている。	○創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンス 1、仲間と励まし合い認め合いながら、ダンスの楽しさやよろこびを味わおうとしている。
	武 道	○柔道・剣道 1. 对人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることを理解している。 2. 技能の習得を通じて、人間形成を図るという伝統的な考え方を理解している。	1、礼法、基本動作を身につけている。 2、基本技能を身につけている。	練習や試合で、相手のすきや崩す方法を考え判断している。	1、相手の動きや技に対応した攻防や勝敗を競う会う武道の楽しさを味わおうとしている。 2、安全に留意して活動しようとしている。 3、礼儀作法を重んじ、相手を尊重して、自分を律する態度をとろうとしている。
保 健	保 健	健康と環境、障害の防止を理解し、積極的に行動している。 生活習慣病の予防法などを行っている。		健康と環境、障害の防止についての確かな判断が出来る。 健康に過ごすための判断をできるようにする。	健康と環境、障害の防止について関心を持って生活する。 生活習慣の予防などについて関心を持って生活する。